ヤングケアラーとは

令和6年6月12日公布・施行された「子ども・子育て支援法等の一部改正する法律」において、子ども・若者育成支援推進法が改正され、ヤングケアラーは「**家族の介護その他の日常生活上の世話を過度※1に行っていると認められる子ども・若者**」と法的に定義されました。

年齢は、**概ね30歳未満を中心※2**としていますが、こども・若者期にヤングケアラーとして家族の世話を担い、こども・若者にとって必要な時間を奪われたことにより、社会生活を円滑に営む上での困難を有する状態に引き続き陥っている場合等その**状況等に応じ、40歳未満の者も対象となり得る**こととされています。

※1　過度にとは、こどもにおいてはこどもとしての健やかな成長・発達に必要な時間（遊び・勉強等）を、若者においては自立に向けた移行期として必要な時間（勉強・就職準備等）を奪われたり、ケアに伴い身体的・精神的負荷がかかったりすることによって、負担が重い状態になっていることを指します。

※2　エールぎふでは、20歳前までの子ども・若者を対象に支援をしています。

ヤングケアラーが行っていることってどんなこと？



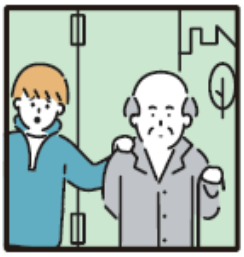
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼い兄弟の世話をしている。



障がいや病気のある兄弟の世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声がけなどの気遣いをしている。



日本語が第一言語ではない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

出典：子ども家庭庁ホームページ

※ 皆さんの近くにいる子ども・若者が、「ヤングケアラーかな？」と思ったら、速やかに岐阜市子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”への情報提供をお願いします。

【連絡先】　家庭児童相談係　　０５８－２６９－１６１５